

2020 年 2 月 28 日

保 護 者 の 皆 様 へ
生 徒 の 皆 さ ん へ

尚綱学院中学校・高等学校
校 長 藤 倉 眞 一

2019 年度 学校生活に関する生徒・保護者アンケートについて（ご報告）

向春の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。日頃より本校の教育活動に対し、ご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、昨年末に実施した学校生活に関する生徒・保護者アンケート調査について、多くの皆様からたくさんのご意見をいただきました。ご協力ありがとうございました。

この結果を真摯に受け止め、今後の教育活動の改善に活用し、学校のさらなる活性化を通して、キリスト教を土台とした人間教育を実践し、地域に開かれた特色ある学校づくりに努力したいと考えております。今後ともよろしくご支援のほどお願いいたします。

- 1 調査対象 在校生とその保護者（中学校 91 名、高等学校 799 名）
- 2 調査期間 生 徒：2019 年 12 月 4 日
保護者：2019 年 12 月 4 日～12 日
※回収率：中学校 生徒 92.3% 保護者 89.0%
高等学校 生徒 97.2% 保護者 92.9%
- 3 調査内容
 1. 教育目標・方針、総合満足度に関して
 2. 学習活動に関する領域（教育課程、教科指導、総合学習、国際交流）
 3. 進路指導に関する領域（進学指導、進路相談）
 4. 生徒指導に関する領域（特別活動、生活指導、教育相談、安全・健康、環境美化）
 5. キリスト教教育に関する領域（礼拝、キリスト教行事、奉仕活動）
 6. 教育活動全般に関する領域（危機管理、施設設備、情報提供）
- 4 回答方法 「よくあてはまる、だいたいあてはまる、あまりあてはまらない、あてはまらない」の 4 段階評価と「わからない」の項目を設定した。
- 5 集計方法 「よくあてはまる」4 点、「だいたいあてはまる」3 点、「あまりあてはまらない」2 点、「あてはまらない」1 点として平均値を算出した。3.5 以上を S、3.0 以上を A、平均である 2.5 以上を B、平均未満となる 2.5 未満を C とした。「わからない」は、評価判断ができないため、評価の集計からは除外した。
- 6 調査結果 裏面をご覧ください。

《お問い合わせ先》

総務部 松宮 正樹

☎ 022-264-5881（代）

高等学校 全項目の平均値は、生徒：2.99(昨年度比-0.07)、保護者：3.17(同-0.02)でした。

高等学校 生徒アンケート									
2019年度					2018年度				
肯定的な評価の高い項目					肯定的な評価の高い項目				
順位	調査項目	平均	評価	昨年比	順位	調査項目	平均	評価	
1	教科の質問への対応	3.44	A	-0.05	1	教科の質問への対応	3.49	A	
2	キリスト教行事の充実	3.34	A	±0	2	キリスト教行事の充実	3.34	A	
3	ボランティアや奉仕活動の充実	3.25	A	-0.01	3	ボランティアや奉仕活動の充実	3.26	A	
4	国際交流プログラムの充実	3.15	A	-0.04	4	健康管理や安全への配慮	3.21	A	
5	進路情報の適切な提供	3.11	A	-0.06	5	国際交流プログラムの充実	3.19	A	
	担任の生徒理解			-0.07		進路目標への適切な指導			
	健康管理や安全への配慮			-0.10					
	通信などによる情報提供			+0.01					
肯定的な評価の低い項目					肯定的な評価の低い項目				
順位	調査項目	平均	評価	昨年比	順位	調査項目	平均	評価	
31	ホームルーム活動の活発化	2.83	B	-0.02	31	学校行事の充実	2.9	B	
32	毎朝の礼拝の充実	2.76	B	-0.10	32	毎朝の礼拝の充実	2.86	B	
33	建学の精神や教育目標への取り組み	2.74	B	-0.06	33	ホームルーム活動の活発化	2.85	B	
34	校則やきまりの順守	2.73	B	-0.22	34	いじめの早期発見への取り組み	2.81	B	
	いじめの早期発見への取り組み			-0.08	35	建学の精神や教育目標への取り組み	2.8	B	

高等学校 保護者アンケート									
2019年度					2018年度				
肯定的な評価の高い項目					肯定的な評価の高い項目				
順位	調査項目	平均	評価	昨年比	順位	調査項目	平均	評価	
1	校舎やグラウンドなどの施設	3.5	S	-0.02	1	校舎やグラウンドなどの施設	3.52	S	
2	キリスト教行事の充実	3.47	A	-0.02	2	キリスト教行事の充実	3.49	A	
3	学校から家庭への連絡・情報提供	3.37	A	-0.07	3	学校から家庭への連絡・情報提供	3.44	A	
4	ボランティアや奉仕活動の充実	3.34	A	-0.03	4	ボランティアや奉仕活動の充実	3.37	A	
5	学校生活の全般的な満足	3.3	A	-0.06	5	学校生活の全般的な満足	3.36	A	
肯定的な評価の低い項目					肯定的な評価の低い項目				
順位	調査項目	平均	評価	昨年比	順位	調査項目	平均	評価	
34	進路情報の適切な提供	3.02	A	-0.02	34	進路関係行事の充実	3.05	A	
	ホームルーム活動の活発化			-0.09		いじめの早期発見への取り組み			
36	いじめの早期発見への取り組み	3.01	A	-0.04	36	進路情報の適切な提供	3.04	A	
37	学ぶ意欲や学力を身につけさせる授業	2.99	B	-0.02	37	学ぶ意欲や学力を身につけさせる授業	3.01	A	
38	わかりやすい授業への工夫・改善	2.94	B	-0.02	38	わかりやすい授業への工夫・改善	2.96	B	

（生徒）昨年とほぼ同様の傾向で、『質問への対応』、『キリスト教行事』、『ボランティア活動』が上位3項目となりました。平均値が、昨年度から-0.07 ですが、一昨年度と比較すると-0.01 となっています。昨年度比で最も上昇したのは『挨拶とマナー』で+0.03。最も低下したのは『校則遵守』で-0.22 でした。また、コースや学年による違いもあり、学年別では1年生、コース別では特進コースの評価が最も高くなっていました。総進コースは『特別活動』に『国際交流』や『ボランティア活動』、文理コースは、『教科の質問対応』に『ボランティア活動』や『国際交流』、特進コースは『進路』や『学習』に関する分野全般に高くなっていますが、全体の上位の項目はすべてのコースで高い評価となっていました。

（保護者）昨年とほぼ同様の傾向で、『施設設備』、『キリスト教行事』、『学校から家庭への情報提供』が上位3項目となりました。昨年度比で最も上昇したのは『国際交流』で+0.08。最も低下したのは『ホームルーム活動』で-0.09 でした。学年別では1年生、コース別では特進コースの評価が最も高くなっていました。総進コースでは『特別活動』や『ボランティア活動』を中心に評価が高く、文理コースは、『特別活動』に加えて『国際交流』、『学習』に関するいくつかの項目で評価も高くなっていました。特進コースでは『進路』や『学習』に関する分野全般に高くなっていました。

中学校 全項目の平均値は、生徒：3.04(昨年度比-0.07)、保護者：3.05(昨年度比-0.10)でした。

中学校 生徒アンケート									
2019年度					2018年度				
肯定的な評価の高い項目					肯定的な評価の高い項目				
順位	調査項目	平均	評価	昨年比	順位	調査項目	平均	評価	
1	キリスト教行事の充実	3.54	S	+0.11	1	学校行事の充実	3.46	A	
2	学校行事の充実	3.32	A	-0.14	2	キリスト教行事の充実	3.43	A	
3	担任の生徒理解	3.31	A	+0.18	3	校舎やグラウンドなどの施設	3.41	A	
4	校舎やグラウンドなどの施設	3.25	A	-0.16	4	生徒会行事の充実	3.38	A	
5	ボランティアや奉仕活動の充実	3.22	A	+0.14	5	生徒会・委員会活動の活発化	3.35	A	
肯定的な評価の低い項目					肯定的な評価の低い項目				
順位	調査項目	平均	評価	昨年比	順位	調査項目	平均	評価	
30	校則やきまりの順守	2.84	B	+0.34					
	問題解決への機敏な対応			-0.04	31	放課後や長期休み中の課外学習等	2.84	B	
32	わかりやすい授業への工夫・改善	2.81	B	-0.41	32	建学の精神や教育目標への取り組み	2.82	B	
33	建学の精神や教育目標への取り組み	2.8	B	-0.02	33	部活動の充実や学習との両立	2.78	B	
34	いじめの早期発見への取り組み	2.75	B	±0	34	いじめの早期発見への取り組み	2.75	B	
35	放課後や長期休み中の課外学習等	2.74	B	-0.10	35	校則やきまりの順守	2.5	B	
中学校 保護者アンケート									
2019年度					2018年度				
肯定的な評価の高い項目					肯定的な評価の高い項目				
順位	調査項目	平均	評価	昨年比	順位	調査項目	平均	評価	
1	校舎やグラウンドなどの施設	3.51	S	-0.05	1	校舎やグラウンドなどの施設	3.56	S	
2	キリスト教行事の充実	3.36	A	-0.08	2	学校行事の充実	3.44	A	
3	毎朝の礼拝の充実	3.28	A	-0.04		キリスト教行事の充実			
	ボランティアや奉仕活動の充実			-0.10	4	生徒会行事の充実	3.38	A	
5	学校から家庭への連絡・情報提供	3.2	A	-0.16		ボランティアや奉仕活動の充実			
肯定的な評価の低い項目					肯定的な評価の低い項目				
順位	調査項目	平均	評価	昨年比	順位	調査項目	平均	評価	
34	いじめの早期発見への取り組み	2.83	B	-0.42	34	わかりやすい授業への工夫・改善	2.96	B	
35	学ぶ意欲や学力を身につけさせる授業	2.79	B	-0.19	35	校則やきまりの順守	2.91	B	
	進路関係行事の充実			-0.01	36	生徒の学習意欲	2.87	B	
37	わかりやすい授業への工夫・改善	2.75	B	-0.21	37	進路情報の適切な提供	2.81	B	
38	進路情報の適切な提供	2.73	B	-0.08	38	進路関係行事の充実	2.8	B	

（生徒）昨年とほぼ同様の傾向ですが、『キリスト教行事』、『担任の生徒理解』、『ボランティア活動』が大きく上昇しています。一方、上位の中にも大きく数値を下げたものもみられます。昨年度比で最も上昇したのは昨年最も低い評価であった『校則の遵守』で+0.34。最も低下したのは『わかりやすい授業』で-0.41でした。全般的な傾向として、『行事関係』の評価が高く、『生活』や『学習・進路』の部分で評価が低くなっています。

（保護者）昨年とほぼ同様の傾向ですが、『校舎施設』、『キリスト教行事』が高い評価となっています。全体的には昨年度よりも評価が下がっていますが、昨年度比で最も上昇したのは『校則の遵守』で+0.13、『学習への意欲』で+0.1でした。最も低下したのは『ホームルーム活動』で-0.39、『教科の質問対応』で-0.34でした。全体的な傾向として、『キリスト教行事』が高く、『学習・進路』の部分で評価が低くなっています。

※ 結果の詳細については、尚絅学院中学校高等学校のwebページに後日公開いたします。